



# NEWS

1998.6.5 (平成10年6月5日)

発行：財団法人 骨髄移植推進財団

発行責任者：小池欣一(理事長)

編集責任者：清水 透(普及広報委員長)

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-12新宿ISビル8F

TEL 03-3355-5041 FAX 03-3355-5090

http://www.jmdp.or.jp

## 土・日ドナー登録受付 全国的に開始

97年12月14日(日)

横浜駅西口・かな

がわ県民センターにおいて、神奈川県衛生部・大和保健所主催により、全国展開に先がけて、「日曜日ドナー登録受付、採血」が行われました。

当日は65名の方が登録されました。

## ドナー登録者30万人をめざして

全ての患者さんの  
命のために

公共広告機構  
CM出演で  
大活躍のもえちゃん

映画「友情」主演の  
三船美佳さんに  
花束贈呈



### CONTENTS

特集	1. どう変わる？骨髄バンク！「ドナー登録30万人をめざして」	2・3
	2. リポート・公開フォーラム「明日の骨髄バンクを考える」	4・5

TOPICS	大反響！公共広告機構CM 他 インターネット・ホームページのご紹介	6・7
--------	--------------------------------------	-----

財政状況の説明		7
---------	--	---

DATA REPORT / 日本骨髄バンクの現状・ドナーフォローアップ報告		8・9
---------------------------------------	--	-----

DATA REPORT / コーディネート状況第3報・移植成績第3報		10・11
------------------------------------	--	-------

INFORMATION / HLA1座不一致移植の実施について 他		12
-----------------------------------	--	----

# どう変わる？ 骨髄バンク！

ドナー登録者30万人をめざして。これからの骨髄バンク

「骨髄移植を望むひとりでも多くの患者さんの命のために」これまで、そしてこれからも変わらない基本理念を実現するために設立から7年目のいま、骨髄バンクは新たな一歩を踏みだそうとしています。

「30万人！」って・・・なぜ？

登録者10万人での適合率は

日本骨髄バンクは、多くの方々のご協力により本年4月、ドナー登録者が9万5千人を超え、夏には当初の目標・ドナー登録者10万人を達成する見込みです。最近では新規登録患者さんの約8割前後の方に適合する（血清学的レベル）ドナーが見つかるようになり、骨髄バンクを介した骨髄移植も4月24日、累計1500件に達しました。しかし依然として、約2割の患者さんには1人の適合ドナー候補者も見つからず何年間もドナーを待ち続けている患者さんが数多くおられます。本年4月末現在、登録されている患者さん1600人のうち、ドナー候補者が見つからない患者さんは、約550人もおられる実態があります。

ドナー登録拡大に向けて

土・日曜日のドナー登録受付開始

日本赤十字社は、本年より各地の血液センター・献血ルームでの土・日曜日、祝日のドナー登録受付（可能な所に限る）を開始しました。また都道府県は、ドナー登録受付保健所を大幅に増加しています。加えて財団が中心となって各都道府県、地元ボランティアの方々との協力をもち、全国各地で土・日曜日に「ドナー登録受付説明会」を実施いたします。受付された

移植成績向上のためにDNAレベルでの適合

骨髄バンクを介して実施された非血縁者間骨髄移植を厚生省研究班で成績解析したところ、DNA（遺伝子）レベルで適合すると移植成績が良いことが判明しています。ドナーの方々の善意に報い、何よりも患者さんのために欠かせない移植成績の向上。DNAレベルで患者さん9割に適合する確率を試算すると、血清学的レベルでの適合予測のドナー登録者数10万人から、約3倍のドナー登録者数30万人程度に引き上げる必要性があることがわかりました。そこで、すべての患者さんに生きるチャンスを提供するため、新たなドナー登録者の目標数として当面20万人、最終的には30万人をめざすことになりました。



97年12月14日、全国展開に先がけて日曜日ドナー登録受付が行われました（横浜駅西口・かながわ県民センター）

## REPORT

骨髄提供者（ドナー）の安全対策の強化について

骨髄バンクは、善意から骨髄提供して下さるドナーの健康を守ることが基本理念です。骨髄採取は全身麻酔下で行われる医療行為であるため、程度の差はあれ採取に伴い幾つかの副作用が発生します。（症状等の概要は8ページを参照下さい）

このため当財団は、厳格なドナー適格基準を定め健康状況に懸念のあるドナー候補者の方は、コーディネート段階で事前の健康診断でお断りしております。（10ページを参照下さい）また、全てのドナーの提供前後の健康状況をフォローアップしています。各採取施設に対しては、骨髄採取での軽微な副作用を含めた安全対策の徹底を要請しています。

このうち、本年に入りドナー安全対策上、公表が必要と考えられた2事例、ドナーに軽微ながら初めての後遺障害が発生/提供から6ヵ月後でも左手小指の付根部分にしびれ感等が残存、ドナーに急性肝炎が発生/退院から約2週間後にC型肝炎が発症した件は、その時点では調査途中であり、現在もお原因究明を継続中ですが、緊急に発表いたしました。

今後とも、ドナーの健康に関する事実は速やかに発表し、安全対策を一層充実させてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

熱のこもった討論  
'97骨髄バンク推進全国大会

昨年12月6日、江戸東京博物館で「骨髄バンク推進全国大会'97」が、全国から180人の参加者を得て開催されました。骨髄バンクの現状報告について、パネルディスカッションが行われ、骨髄バンクの今後の発展について熱のこもった討論が展開されました。

第2部では、仮開設された財団のインターネット・ホームページの説明や「ミネハハ」のソロボーカルと「ブラン・ペジェン」による民族楽器演奏のアトラクションがありました。



(上) 全国大会会場入口  
(下) 街頭キャンペーンの様様



同時期開催

全国大会と時期を同じくして骨髄バンク普及啓発のための街頭キャンペーンが、全国各地でそれぞれに趣向をこらして行われました。

全国各地で普及啓発街頭キャンペーン

すべての患者さんの命のために

ドナーの健康と  
人権を守りながら

ひとりでも多くの皆様にドナー登録

方は、当且近く献血ルームなどで採血登録ができるようになります。ドナー登録拡大に向けて大きな効果が期待されます。

していただくために、また安心して骨髄提供していただくために、今までもましてコーディネート段階での健康チェック強化、採取病院でのドナー健康安全対策の徹底を図り、提供者のフォローアップ情報を公表していくことはいくらでもありません。

患者さんへの援助  
HLA照合サービス開始

血液専門医（主治医）の方々は、白血病などの重症血液疾患の患者さんに対して、最近はや早い段階から骨髄移植を考慮して治療にあたっています。適合ドナー候補がいるか否かにより、治療方針が大きく変わります。こうした状況から、正式な患者登録検査ではなく、予備的に「適合

ドナーが何名いるか」の照合に応じる取り組みが、国内外の主治医から要望されていました。そこで本年4月13日から日本赤十字社（中央骨髄データセンター）の協力により全国から毎月2回集計されるドナーHLA種類別データにもつき、主治医からの照合に答えるHLA適合照合サービスを無料を開始しました。今後、患者さんの治療方針の早期決定に役立てていただけるものと思います。

適合ドナー検索の国際機関  
BMDWへの参加



世界各国の骨髄バンクの相互協力を目的としている国際機関であるBMDW

(Bone Marrow Donor's Worldwide・世界骨髄バンクドナーデータ集計システム/32カ国37骨髄バンク・15歳以上帯血バンク、ドナーデータ数478万人)に、日本骨髄バンクも参加しました。この集計データ(2カ月毎の更新)検索により、患者さんに適合するドナー登録者が、どの国・骨髄バンクに何人いるか、どの程度HLAが合っているかが、インターネットで瞬時に把握できます。原則として日本骨髄バンクの認定病院からは直接インターネットで検索できます。主治医の問合せには、財団が照合検索して回答します。

着実な成果・国際協力  
アジア諸国との連携も

国を超えて患者さんを救い合うため、昨年4月から開始された国際協力事業。全米骨髄バンクとの提携により、すでにアメリカから骨髄提供が17例されています。仮提携している台湾骨髄バンクからも近々骨髄提供第1例が予定されています。

昨年来より提携に向けて折衝中の韓国骨髄バンクとは、できる限り早く仮提携を行い、相互に患者さんを救い合うことで基本合意しています。日本骨髄バンクとしては今後、アジア諸国とのネットワーク化に向けて努力を重ね、真の意味での国際相互協力の関係を築き上げたいと考えています。

厚生省研究班 骨髄バンク患者さん相談窓口開設について

白血病などの重症血液疾患は突然発病するため患者・家族の方々は、その時から様々な不安な思いの中で暮らしが始まります。よい治療法は？この病院？骨髄移植の成績は？治療費は？経済的問題、様々な不安や疑問等について相談する窓口はないのか……。

そこで、厚生省「造血細胞移植と免疫応答に関する研究班/班長・小寺良尚名古屋第一赤十字病院内科部長」では、研究テーマの一つとして、血液疾患の患者・家族の方々からの電話相談窓口を昨年12月15日に開設しました。これまでに全国から200件を超える相談が寄せられています。電話相談は、看護婦さんを始め元患者家族の方々など約10名が担当しています。それぞれ豊かな経験をもとに、相談の一つひとつについて相手の立場に立って少しでも疑問や悩みが解決され、軽減されるよう頑張っています。

今後、研究班では、患者・家族の方々が抱えている問題点や提供すべき情報等の整理を行い、また、すでに相談活動されている他の機関との連携のあり方等を検討し、より良い相談窓口の本格開設につなげたいと考えています。

相談電話は平日(13:00~17:00)

03-3355-6888へ

REPORT

'97年11月  
8日・9日

主催 (財)骨髄移植推進財団  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

# 明日の骨髄バンクを 考える

昨年11月8日、9日全労済・東京レインボウ会館(東京都新宿区)で公開フォーラムを開催しました。広く行政、日本赤十字社、医療関係者、法律家、ボランティア団体、患者家族、マスコミ関係者など参加者約120人が一堂に会して、延べ11時間以上にわたり熱のこもった議論が展開されました。それぞれの立場からの率直な意見、提言は必ず骨髄バンク事業の一層の発展につながるものと思います。

紙面の都合上、内容は一部を要約したものです。  
「フォーラム報告書」など資料請求は財団までお知らせください。



参加者・フロアからも活発な発言が多く見られました

## IMPROVE 特集

### 1 ドナーサイドの問題

1部  
11/8

#### ドナー登録の 基準について

登録年齢を諸外国に準じ18歳〜55歳に拡大を、という提案に、医学的な立場からは、中高年は成人病などのため不適格となる確率が高い。本人のリスクも高くなるなどの理由から年齢引き上げについては慎重論が、年齢引き下げについては賛成論が多く述べられました。  
上限拡大に関しては「登録しているだけで優しい気持ちになれる」という心理も尊重してほしいという発言もありました。

#### ドナー登録者拡大と 普及啓発のあり方

移植成績向上のためにDNAレベル適合の重要性や5年間のデータの蓄積から

当初の登録者10万人目標は変更が必要との提案がされ、登録者拡大のため、日曜日の登録受け、ドライブ方式の導入が、より積極的な普及啓発活動のためにはキャラクターグッズやステッカーなどの制作販売の取り組みが提案されました。  
ドナー・移植患者  
対面の問題をめぐって  
人道的、社会的いずれの観点からも繊

### 2 患者・家族サイドの問題

2部  
11/9

#### 骨髄バンクでの 患者擁護の必要性

骨髄バンクはドナーの安全と人権を守

細な問題である一方、普及啓発活動に大きな効果が予測されることから賛否が分かれるところでした。フロア(参加者)からの発言が多く、関心の深さをつかががりました。

＜敬称略＞	
【座長】	財団普及広報委員長
清水 透	財団普及広報委員長
高橋真知子	協議会実行委員
【課題提起】	
野村正満	協議会運営副委員長
【パネリスト】	
赤座達也	日赤中央骨髄データセンター
秋山祐一	財団ドナー安全委員長
阿部 勲	ドナー体験者・新潟県
小山 修	神奈川県衛生部保健予防課
鈴木利治	東京弁護士会
妹尾浩和	中日新聞記者
土田昌宏	財団コーディネーター委員

パネリストの肩書きは全国骨髄バンク連絡協議会を協議会と表記しました

るとともに、「移植を望む患者の救命」が基本であるという観点から、患者登録にあたっては十分な情報提供が必要であり、コーディネート段階から移植までの患者

#### 移植推進複合バンク設立 積極的な取り組み

鳥根県



記念式典の様様

鳥根県は臓器移植と骨髄移植の推進をめざし、県民への正しい知識の普及啓発を行う主体として財団鳥根難病研究所内に「しまなみこころバンク」を設営。2月14日松江市で設立式典と記念講演会・シンポジウムが行われました。新年度から、県内の10保健所すべてでドナー登録受けを開始するなど、積極的な取り組みが展開されます。

#### 骨髄バンク支援団体 ニューフェイス誕生

鳥取県



県内で骨髄バンク普及のため、活動を続けてきました

5月30日、ボランティア団体「鳥取県骨髄バンクを支援する会」が誕生しました。全国自治労働組合鳥取本部の強力な支援でシンポジウム開催を重ねるなど、準備委員会の努

北から  
南から

注) ドライブ方式：テレビ・ラジオ・新聞や街頭宣伝でドナー登録を呼びかけ、病院や公民館などで一斉にドナー登録受けをする方式。欧米では1回に、数百人～数千人のドナー登録が行われています  
 注) 予備検索：3ページ参照 注) さい帯血バンク：さい帯血を保管し提供するバンク  
 注) さい帯血移植：出産時のへその緒・胎盤内から造血細胞を採取し、移植に活用する方法



第2部討論の模様

サポート体制、患者コーディネーターや患者・家族の相談窓口の設置、予備検索の導入などの必要性が提起されました。

**患者負担の軽減と情報公開**

骨髄バンク事業費が増大する中、国庫補助金は削減傾向。困難な財団の財政状況下での事業費全体への医療保険適用が提案され、一方で患者負担金の見直し、減免制度の周知の必要が指摘されました。

患者・主治医がほしい資料・情報が迅速、的確に提供されるためには、個人のプライバシーを除くすべての情報公開を望む発言が多くありました。

移植機会の拡大と国際協力

骨髄造血幹細胞移植方法の多様化(さい帯血移植、末梢血造血幹細胞移植)への対応、移植適応条件の拡大、施設・地域間格差の是正など国内体制の拡充を図るとともにアジア諸国とのネットワーク化の促進、BMDWへの加入の早期実現が必要と確認されました。

3

明日の骨髄バンクのために

3部 11/9

バンクシステム全体の方

第1部 2部での議論をふまえ、日本骨髄バンクを実際になっている財団、日赤との連携のあり方、厚生省の役割など組織上の課題や情報公開のあり方、財政問題、対面の是非、家族の同意と第三者立ち会い、国際化に伴う国際的基準との整合性(予備検索や1座不一致移植、ドナー・患者の適応条件など)、さい帯血バンクなどの項目について全般的な討論がなされ、「明日の骨髄バンク」にどっつなげるかという観点で討

- <敬称略>
- [座長] 加藤俊一 財団医療委員長  
 畠山茂房 協議会運営副委員長
- [課題提起] 陽田秀夫 協議会運営委員長
- [パネリスト] 赤座達也 日本赤十字社  
 小野博宣 毎日新聞記者  
 貝谷伸 厚生省臓器移植対策室長  
 平林勝政 国学院大学法学部教授  
 森島泰雄 財団コーディネート委員長

議されました。長く懸案であった公開フォーラムが実現しました。当初より「結論を得る場ではない」との共通意識でスタートしましたが、多くの関係分野からの率直な意見と、迫熟した討論をおとす、日本骨髄バンクが歩んできた軌跡と解決すべき課題の確認ができたことも事実でした。何よりも討議を通して将来に向けての方向性が見えてきたことは、参加者にとって大きな収穫であり、一層のバンク事業発展に希望の灯をともしものとなりました。

- <敬称略>
- [座長] 三田村真 協議会事務局長  
 森真由美 財団企画管理委員会副委員長
- [課題提起] 遠藤允 協議会事務局長
- [パネリスト] 油野千里 元患者・富山県  
 加藤俊一 財団医療委員長  
 KEN 元患者家族・東京都  
 近藤博子 がんの子どもを守る会・相談員  
 齋敏明 主治医・福島県  
 新田恭平 協議会運営委員

全国754の会議所、会員数6万3千人を超える「社」日本青年会議所(JC)の月刊機関誌「50億」。今年1月3月号で「骨髄バンク」が取り上げられ、1月号では「チャンス」送付希望やアンケートハガキが折り込まれました。少しでも悲しみを減らしつつも多くの喜びを作り出すために、これからもバンクを応援します」という新田八郎会頭のコメントをいただきました。



JCの機関誌「50億」1月号表紙

「骨髄バンク」が

力が実ったものです。当日は会の発足を記念して、「設立総会・講演会・パネルディスカッション」が持たれました。

3年連続「骨髄バンク推進」活動テーマに

ロータリークラブ

国際ロータリークラブ2650地区(奈良・京都・滋賀・福井)では社会奉仕委員会(岡村吾郎委員長)の活動のテーマとして、骨髄バンク支援を取り上げ、96年～98年、骨髄バンクの正しい理解と経済的サポートに協力されました。各クラブの例会には関西地区の財団関係者が、積極的に協力いたしました。

## 映画「友情」 完成披露試写会

バンクニュース11号で紹介した映画「友情」。5月16日から東映・洋画系全国一般公開に先立ち、3月30日、完成披露試写会が行われた。

上映前の舞台挨拶では、白血病と闘う14歳の少女を演じた三船美佳さんが「人を勇気づけ、心に残る作品」で主演デビューを飾れたことの喜びを、和泉聖治監督はストーリーのもとになったCNNニュースの報道を見た直後制作を決意したことや、完成までのエピソードを、田中好子さんは義妹・故夏目雅子さんを白血病で亡くしているだけに「病気で苦しむ人たちのお役に立てれば」と主人公の母親役をかって出たいきさつを語るなど、出演者の作品への思いの深さをうかがわせた。



試写会当日、舞台挨拶に立った監督（最左）と出演者。

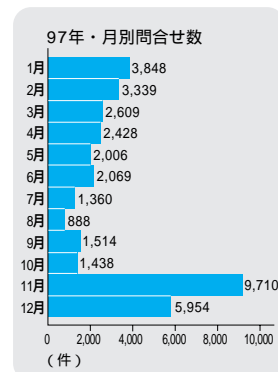
## 大きな反響を 呼んだ 公共広告機構・CM

月間9000件を超える  
登録の問合せ

昨年11月から新聞やラジオ、テレビに登場した公共広告機構（AC）の骨髄バンク第4弾「親でさえ、一致しなければわが子に 骨髄液をあげることはできない」は開始直後から驚異的な反響を呼んだ。ドナー登録に関する月間問合せ件数は11月は9000件を超え、12月も6000件近くに上り、月間ドナー登録者2060人（12月）に結びついた。

誰にでもその人とわかる吉永小百合さんの優しい声でのナレーションはもとより、出演のもえちゃん（8歳）のあどけない眼差しとお母さんの無言の訴えが人々の共感を呼んだにちがいない。

昨年の12月末、登録者累計は10万人を突破。登録者累計は10万人を超えドナー登録10万人がいよいよ視界に入ってきた。CMは秋まで続行、嬉しい結果が期待できそう



電話その他で寄せられた、ドナー登録に関する問合せ数です

なお、公共広告機構の特別な配慮により、「ドナー登録30万人をめざす骨髄バンクキャンペーンを今年度以降も引き続き継続していただけることになりました。」



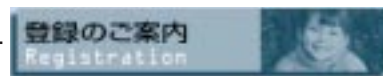
ACの97骨髄バンクキャンペーン広告

ホームページアドレス <http://www.jmdp.or.jp>

ホームページ  
って  
こんな感じ!

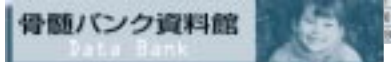
3月20日から 公式ホームページが立ち上がりました!  
骨髄バンクについて様々な情報を提供しています。

[ドナー希望者登録窓口]

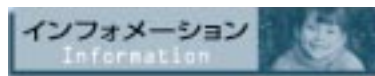


骨髄バンク登録のしおり「チャンス」がご覧になれます。インターネット画面上でドナー登録希望申し込みが行えます。

1994年		1995年	
月	月間登録者数 累計	月	月間登録者数 累計
1月	2902	1月	1025
2月	3321	2月	1114
3月	2576	3月	1646
4月	2795	4月	1131
5月	1972	5月	1130
6月	1719	6月	1129
7月	1281	7月	854
8月	1425	8月	1092
9月	820	9月	871



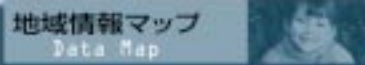
骨髄提供希望者登録者数、移植患者・骨髄提供者数(都道府県別も)他、さまざまなバンクの統計資料(グラフも)や最新の情報、関連図書一覧などがご覧になれます。



現在・過去のポスターやバンクニュース、テレビCMなどがご覧になれます。



93年AC-CM「パー・ブラ・ブッシュ」編もとは全米骨髄バンクが91年からドナー登録を呼びかけテレビキャンペーンを行ったもの。全米で反響を呼びました。



あなたの知りたい地域、次に都道府県をクリックすると、データセンターや認定病院、ボランティア団体などの情報がご覧になれます。

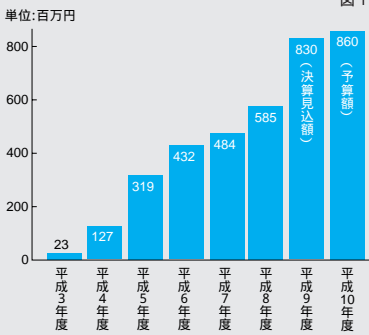
## 骨髄移植推進財団の財政状況

一方、こうした事業を支える収入予算の内訳は、患者さんからの検査保険料を含む負担金収入(53%)、国からの補助金等(18%)、個人や団体からの寄付金(18%)、基本財産の利子等(1%)、前期繰越金(10%)とな

平成10年度支出予算の内訳は、普及啓発とドナー募集費用(23%)、患者さんとドナー候補者との間に立つて移植までを結び付けるコーディネーター活動費用(34%)、患者さんとドナー候補者の血液検査料・ドナー傷害保険料(21%)、国際協力に伴う検査保険料・骨髄採取料等(11%)、一般管理費・その他(11%)です。

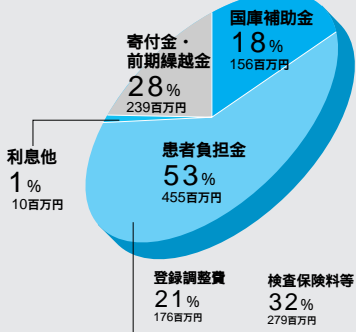
骨髄移植推進財団の運営費は、骨髄バンク事業の進展に伴って毎年1億円程度ずつ増えてきています。(図1)  
平成9年度は、国際協力事業の開始により運営費も大幅に増加し、決算額は約8億3千万円の見込みです。また平成10年度は、国際協力や各事業の件数増加により8億6千万円程度と予測されています。(図2)

### 運営費の推移

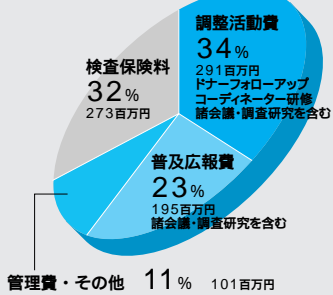


### 平成10年度収入・支出予算

<収入> 860百万円



<支出> 860百万円



### 募金のお願い

骨髄バンク事業は、多くの方々のご寄付で支えられています。

## 頑張っってね「友情」試写会に顔を出したもえちゃん



映画「友情」のテーマソングを歌ったグレッグ・アウウィンさんと「英語」で話をするもえちゃん。中央はアウウィンさんのお母さん

映画「友情」の試写会に顔を出したもえちゃん、声に無邪気にピースサインをして見せる。実はもえちゃんは近く移植を受けることが決まっている。少なからず不安な胸のうちを抑えてお母さんは「適合ドナーが見つかった、本当に感謝しています」と話し、ACCのCMの反響が大きかったことを聞いて、「移植を待つ一人でもたくさんの人たちにドナーが見つかることになれば嬉しい」と語った。

財団の運営経費の約半分は、患者さんの負担金で賄われているのが実態です。非血縁者間骨髄移植のためには、患者登録し実際の骨髄移植に至るまでの患者負担金は、およそ50万~65万円です。なお、NMDP(アメリカ)から骨髄提供を受ける場合は、300万~400万円程度が必要とされています。これ以上、患者負担金を増やすことはかなり困難な状況です。

財政赤字をかかえ、行財政改革に懸命です。財団への補助金も毎年増額から一転し、平成10年度は、前年度比約3千万円減額されました。残念ながら、補助金が増える状況にないのが実態です。

骨髄バンクは、善意と健康で支えあう国民の財産とも言える制度です。様々な個人、企業、団体の皆様の応援(普及啓発とご寄付)により発展していることをご理解いただきたいと思います。

当財団は所得税法施行令及び法人税法施行令に定める「科学技術に関する知識及び思想の総合的な普及啓発を主たる目的とする法人(特定公益増進法人)」であり、当財団に寄付された場合にお渡りする領収書と特定公益増進法人証明書(写)を税務署に提出されますと、税法上の優遇措置が受けられます。

# INTERNET 体験

開いてみたい項目をクリック  
可愛い少女がご案内





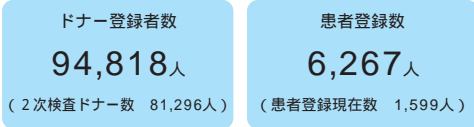
日本骨髄バンク事業は開始から7年が経過し、本年3月末現在には骨髄バンクを介した移植例が、1,478例に達しました。ご提供いただいたドナーの皆様には、患者さんに生きる希望、生命の贈り物をいただき、心から感謝申し上げます。  
現在までの骨髄移植・採取状況を、資料をもとにご報告いたします。

## 骨髄バンク認定病院の非血縁者間骨髄移植・採取件数

印は国際協力認定病院・全国31ヵ所（平成10年3月末現在）

### 患者・ドナーのコーディネート状況

（平成10年3月末現在：累計）



### HLA適合検索



<コーディネート( )>



<コーディネート( )>

最終同意・移植日程調整 **1,754**組

<コーディネート( )>

骨髄提供・移植実施数 **1,478**例

<フォローアップ>

病院名	移植件数	採取件数	病院名	移植件数	採取件数
北海道大学医学部附属病院	34	29	名古屋第二赤十字病院	34	12
札幌北楡病院	33	45	名鉄病院	61	33
札幌医科大学医学部附属病院	11	18	名古屋大学医学部附属病院	10	13
総合病院旭川赤十字病院	6	17	名古屋大学医学部附属病院分院	2	
弘前大学医学部附属病院	4	7	名古屋掖済会病院	5	10
東北大学医学部附属病院	9	31	国立名古屋病院	1	8
東北大学加齢医学研究所附属病院	9	1	愛知医科大学附属病院	2	7
山形大学医学部附属病院	9	5	名古屋市立大学医学部附属病院	5	5
秋田大学医学部附属病院	9	16	愛知県厚生農業協同組合連合会更正病院	3	1
福島県立医科大学附属病院	3	12	愛知県厚生連昭和病院	11	5
国立がんセンター中央病院	15	15	藤田保健衛生大学病院	8	3
東京大学医科学研究所附属病院	48	74	三重大学医学部附属病院	14	21
東邦大学医学部附属大森病院	2	12	金沢大学医学部附属病院	22	18
東京都立駒込病院	46	22	金沢医科大学病院	1	1
日本大学医学部附属板橋病院	14	15	富山県立中央病院	21	17
東京慈恵会医科大学附属病院	16	31	福井医科大学医学部附属病院	1	10
慶應義塾大学附属病院	37	33	滋賀医科大学附属病院	8	13
東京医科大学附属病院	7	19	大阪府立成人病センター	36	54
東京医科歯科大学医学部附属病院	8	19	近畿大学医学部附属病院	32	29
東京大学医学部附属病院	7	2	大阪大学医学部附属病院	23	16
虎の門病院	1	2	大阪府立母子保健総合医療センター	47	5
横浜市立大学医学部附属病院	32	43	松下記念病院	17	28
神奈川県立がんセンター	22	17	兵庫医科大学病院	47	13
神奈川県立こども医療センター	16		兵庫県立成人病センター	20	9
東海大学医学部附属病院	47	27	神戸市立中央市民病院	15	14
聖マリアンナ医科大学病院	6	16	神戸大学医学部附属病院	7	5
千葉大学医学部附属病院	42	21	京都大学医学部附属病院	19	18
千葉県がんセンター	4	9	京都府立医科大学附属病院	7	5
千葉県こども病院	11		社会保険京都病院		12
千葉市立病院	3	1	京都市立病院	1	3
国保松戸市立病院	3	9	鳥取県立中央病院	1	6
亀田総合病院	3	3	鳥取大学医学部附属病院	10	13
東京慈恵会医科大学附属柏病院	7	11	広島赤十字・原爆病院	27	61
埼玉県立小児医療センター	14		山口大学医学部附属病院	9	17
埼玉県立がんセンター	21	24	愛媛県立中央病院	19	27
埼玉医科大学附属病院	6	11	国立岡山病院	4	10
深谷赤十字病院	3		財団法人 倉敷中央病院	7	19
茨城県立こども病院	28	15	岡山大学医学部附属病院	2	1
自治医科大学附属病院	9	16	九州大学医学部附属病院	19	16
獨協医科大学病院	7	4	原三信病院	16	11
済生会前橋病院	26	8	浜の町病院	11	13
群馬大学医学部附属病院	7	2	国立病院九州がんセンター	17	8
新潟大学医学部附属病院	14	32	聖マリア病院	8	6
新潟県立がんセンター新潟病院	5	6	社会保険小倉記念病院	7	17
信州大学医学部附属病院	6	26	佐賀県立病院好生館	1	4
佐久総合病院	14	3	長崎大学医学部附属病院 原爆後障害医療研究所	13	13
浜松医科大学附属病院	11	9	宮崎県立宮崎病院	6	10
県西部浜松医療センター	5	7	国立熊本病院	10	11
静岡県立総合病院	2	7	熊本大学医学部附属病院	2	5
静岡県立こども病院	7		大分医科大学附属病院	5	14
名古屋第一赤十字病院	88	31	鹿児島大学医学部附属病院	4	11

最近認定された岩手医科大学附属病院と東京女子医科大学病院の実績はありません。  
名古屋大学医学部附属病院分院は、施設廃止となっています。

注 ドナー登録数は、年齢超過や登録辞退者等を除いた登録者現在数 注 患者登録数は、登録開始からの累計数。患者登録現在数は、移植完了者、登録取消者を除いた登録者現在数 注 HLA適合者数は、HLA-A・B・DR座が一致した累計数 注 3次検査数は、コーディネート( )が終了し採血検査した累計数 注 最終同意数は、ドナーとその家族からの提供同意書が確認され、採取・移植日程の調整に入った、ドナー・患者の組合せ累計数 注 骨髄提供・移植実施数以外の各段階の数字は、コーディネートが中止となった例数を含みます。

### ドナーフォローアップ報告

ドナー安委員会  
(平成9年12月末)

### 骨髄提供者に発生した特記すべき症状

- 採取針破損 8例
  - 採取部位の痛み長期化 5例
  - 義歯・歯牙傷 3例
  - 採取過多による貧血 2例
  - 骨片化膿、切開 1例
  - 硬膜外麻酔によるめまい 1例
  - 腰痛悪化による歩行困難 1例
  - 膀胱カテーテルによる尿道損傷 1例
  - 硬膜外麻酔のための硬膜損傷 1例
  - 麻酔後の一過性難聴、耳鳴り 1例
  - 麻酔覚醒後の片麻痺 1例
  - 採取部位の皮膚炎 1例
  - 点滴部位の静脈炎 1例
- 注 骨髄採取針の破損などにより、入院延長、通院治療された7名の方には、骨髄バンク団体傷害保険より一時金(見舞金)が支給されました。
- 注 の事例について、昨年4月に骨髄提供されたドナー(30歳代・男性)の方に、麻酔覚醒後一過性の左半身麻痺が発生しましたが、その後、急速に自然回復し通常となり退院し、社会復帰され自動車運転等も普通に行っていますが、6ヵ月後においても左手小指の指根部分にわずかに知覚鈍麻ししびれ感が残存しているため、財団として初めて後遺障害と認定しました。ドナーの方には団体傷害保険より後遺障害補償金が支給されました。



## HAPPY TALK

わたしも・・・

### ドナーになりました

イラストレーター 大川はるみさん(36歳)



数百から数万分の1の適合確率で結ばれた患者さんとは「親兄弟より血が濃いんじゃない」。だから毎年11月の「提供記念日」の夕食は、2年前退院した日と同じレストランで、同じパグティールとピザを食べたあと、カラオケに行く。

「もう高校生かな」頑張っているだろう患者さんを思うと自分も元気が出る。体験の漫画イラストを仕事仲間の同人誌に掲載。機会があれば、他の人にも見てもらう。一人でも多くの人と素晴らしい体験を分かち合いたいと思う。「これで、一緒に登録した主人もドナーになれば最高です」

埼玉県人間市在住

### ドナー登録しています

衆議院議員 野田聖子さん(37歳)



初当選して最初の公約実行が「骨髄バンクを応援する若手国会議員の会の結成」という。地元選挙区の岐阜市での異業種交流会で講演した大谷貴子さんとの約束だった。結成から4年「ニーズを実現させるのが使命」と政務多忙中15回の勉強会を持ち、議員会館でシンポジウム開催、大会長を務める全日本空手道選手権大会場でバンクチャリティーを行うなどの活動をしてきた。メンバーも当初5人だったのが51人に。

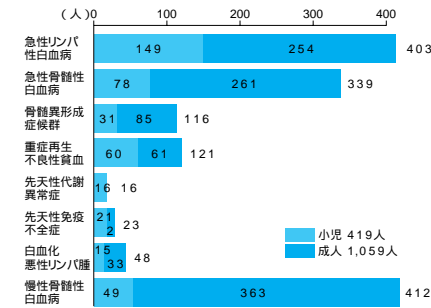
登録している会員の中から何人実際の体験者になるかが目下の期待。「私も待遠しいです」と...

## 非血縁者間骨髄移植の状況 1,478例

(98年3月末現在)

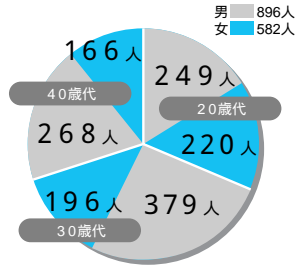
### 移植患者の状況

#### 移植患者疾患別

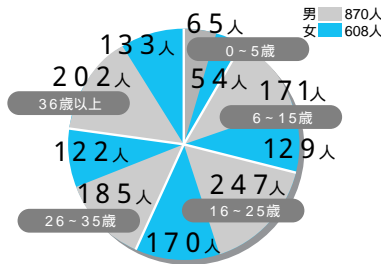


### 提供者の状況

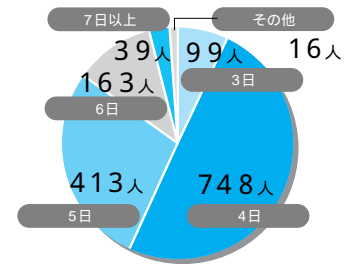
#### 骨髄提供者年齢・男女別



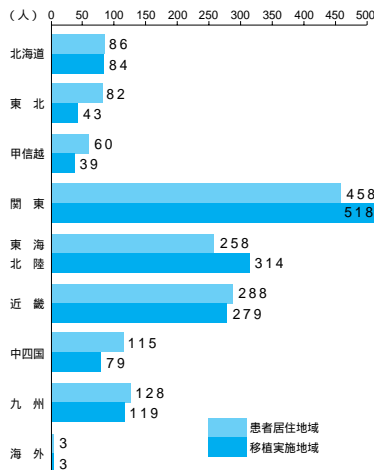
### 移植患者年齢・男女別



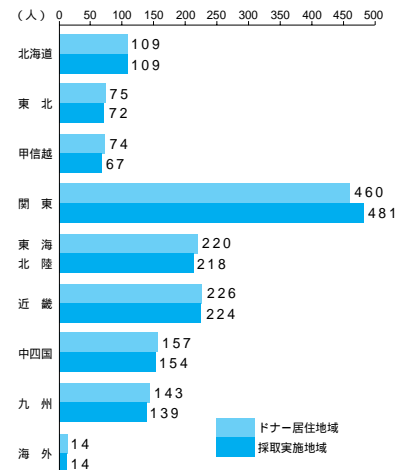
### 骨髄提供者の入院日数



### 移植患者居住地および移植実施施設所在地別



### 骨髄提供者居住地および採取実施施設所在地別一覽

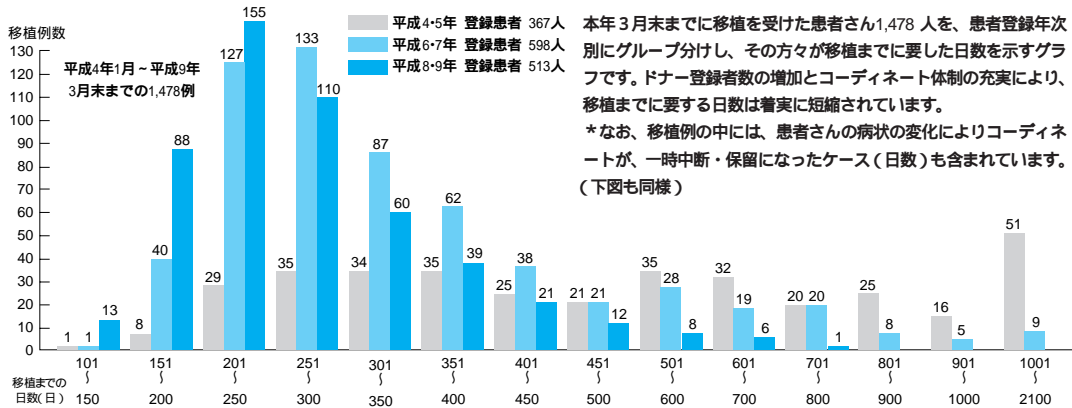


- 骨髄採取中にドナーに発生した症状等
- 血尿
- 骨髄採取中の血圧低下
- 血しょう増量剤の使用
- 上室性不整脈
- 心室性不整脈
- 歯の損傷
- 採取針の破損
- 採取翌日の症状等
- 排尿時痛
- 38度以上の発熱
- 解熱剤の使用
- 感染症
- 肝障害
- 抗生物質の使用
- 鎮痛剤の使用
- 穿刺部位の異常
- 鉄剤投与必要
- 採取翌日歩行不可
- ほぼ歩行可能
- 歩行問題なし

68.1 30.9 1.0 31.1 2.5 37.8 85.8 1.7 2.3 16.1 16.7 7.1 % % % % % % % % % % % % %

0.7 0.3 0.5 0.2 5.3 4.5 1.5 % % % % % % %

## 患者登録から骨髄移植までに要した日数

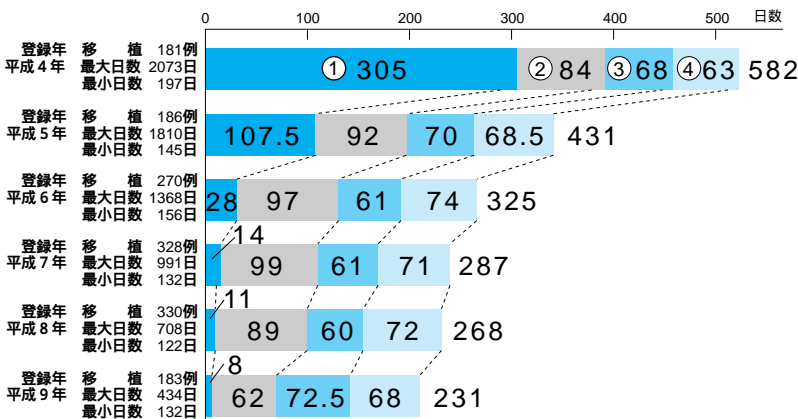


本年3月末までに移植を受けた患者さん1,478人を、患者登録年次別にグループ分けし、その方々が移植までに要した日数を示すグラフです。ドナー登録者数の増加とコーディネート体制の充実により、移植までに要する日数は着実に短縮されています。  
\*なお、移植例の中には、患者さんの病状の変化によりコーディネートが、一時中断・保留になったケース(日数)も含まれています。(下図も同様)



## 適合検索・コーディネート・移植までに要した日数<中央値>

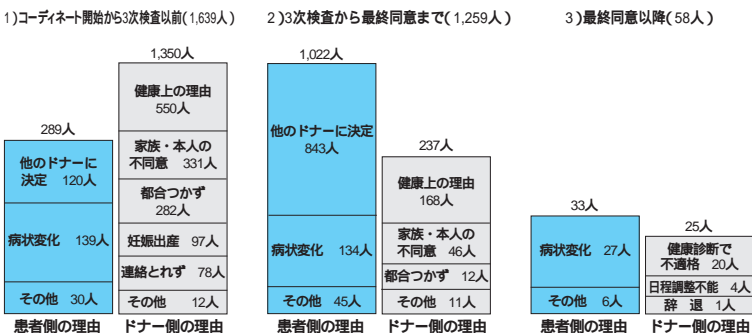
(平成4年1月~平成10年3月末までの1,478例)



患者登録された年別に、移植までの各段階の中央値日数のグラフです。なお、中央値のため各段階と合計日数は対応しません。

登録から適合まで / ドナー登録数増加とともに大幅に短縮しています。  
適合から3次検査まで / コーディネート体制の充実とともに確実に短縮しています。  
3次検査から最終同意まで / 適合率の高まりとともに、複数のドナー候補者を有する患者さんが増え、HLA適合状況や条件の良いドナーを選ぶために時間が必要となっています。  
最終同意から移植まで / 移植病院の空き状況と採取病院との調整が必要であり、最低でも1ヵ月半程度の時間が必要です。

## コーディネート中止理由について (グラフ面積と実数は対応していません)



97年1月~12月までの1年間のドナーコーディネート依頼件数は3,856件で、一方、昨年1年間のコーディネート中止は2,956件でした。

- 患者側理由が多いのは、コーディネート中のより条件の良い他のドナー候補者を選択しての中止であり、次いで治療が難しい患者さんも多い実態から残念ながら各段階で病状変化で中止となっています。
- ドナー側理由が多いのは、健康上の問題です。次いで家族・本人の不同意、都合つかずとなっています。ご家族のご同意なくしては提供できませんので、お早めにご家族内での話し合いをお願いします。

## THANKS TALK

10キロ快走  
頑張ったよ、お父さんは

会社員 池田弘志さん(40歳)



結婚式を1ヵ月後に控えた33歳の時、仕事にはずみで転んで目の上を数針縫った。ついでに受けた検診で慢性骨髄性白血病と診断。どの医学書を見ても「1年ほどの命」とあった。考えぬいて「結婚しきらん」相手の家に断りにいった。「なおのこと1日でも一緒にいたい」そう奥さんの聖香さんが両親を説得したと、ずいぶん後で聞いた。

主治医から移植をすすめられた時のこと。入院をくり返しながらも、化学療法でなんとか状態は安定している。不安を乗り越えて授かった二人の息子を残して「何かあったら」悩む池田さんに「ケガで早く病気が分かって、拾った命じゃなかね」と池田さんのお母さん。「後は私に任せればよか」と聖香さんは励ました。

現在は体調良好。体重も61kgとほぼ元にもどった。今年の2月から週2度、2~3km走り続けた成果、3月の町主催ファミリーマラソン大会で10kmを完走し、声援を送る聖香さん、6歳と5歳の息子は大喜びした。移植から4年になる。

前処置で苦しいさ中、ビニール越しに握った小さな手の温もりが、今も忘れられないという。

長崎県在住

## 移植成績 第3報

### 移植疾患の内訳

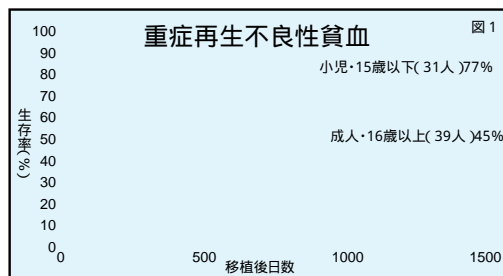
急性骨髄性白血病	271例
急性リンパ性白血病	214例
慢性骨髄性白血病	278例
骨髄異形成症候群	64例
白血化悪性リンパ腫	18例
重症再生不良性貧血	71例
先天(遺伝)性疾患	28例

### 非血縁者間骨髄移植の成績(データ管理委員会)

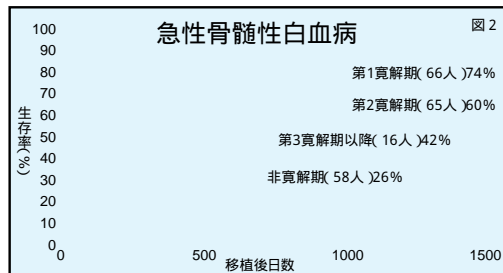
日本骨髄バンクを介し、1993年(平成5年)1月から1997年(平成9年)6月までに骨髄移植された患者さん1,176例のうち、解析可能な949症例について、97年10月時点での移植成績を報告します。日本骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植の成績は、欧米に比較しても、優るとも劣らない成績を示しており、特に、急性白血病は血縁者間骨髄移植と同様の良い成績を示しています。ドナー登録者数の増大とコーディネイト体制の整備により、毎年、骨髄移植症例数は増加しており、昨年は年間398例の非血縁者間骨髄移植が行われ、患者さんに生きるチャンスが提供されています。

### 疾患別の移植成績(生存率)

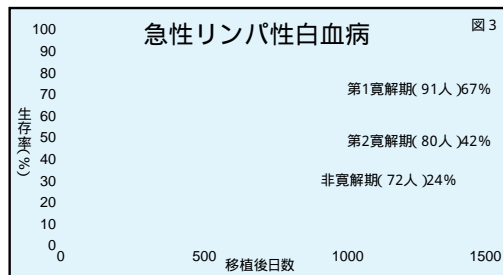
移植の成績は、患者さんの状態によって大きく左右されます。下記の資料はあくまでも、ひとつの目安です。



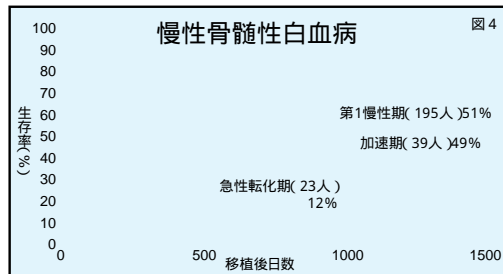
発症から長期の治療をしたリスクの高い症例が多い中でも、小児77%、成人45%と比較的良好な成績を示しています。



初期の良い状態(第1寛解期)では、血縁者間移植と同様の生存率で、良い成績を示しています。年齢が若いほど良い成績です。(グラフには示されていません)



初期の良い状態(第1寛解期)では、血縁者間移植と同様の生存率で、良い成績を示しています。年齢が若いほど良い成績です。



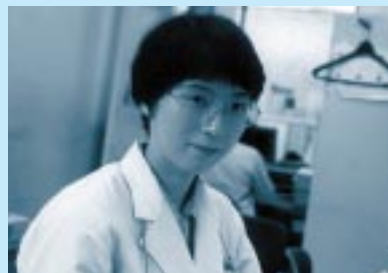
発病後の安定した状態(慢性期)では、生存成績は51%で、病気がやや進んだ加速期でも比較的良好な成績を示しています。年齢が若いほど良い成績です。

先天性(遺伝性)疾患: 血縁者間移植より若干低い、約56%(25例)の生存率です。(図なし)  
骨髄異形成症候群: 病状の悪化した症例が多いため、31%(64例)の生存率となっています。(図なし)

## THANKS TALK

いつも新しい  
明日をめざして

医療事務 竹内智美さん(27歳)



通勤時間40分。昨年2月からフルタイムで病院に勤務している。「仕事は楽しい」。診療報酬明細書処理の毎月第1日曜日前後は7~10日連続出勤。結構ハードな毎日だが「患者さんが元気になっていくのを見るのが喜び」。人と人との触れ合いが充実感につながる。

19歳で骨髄異形成症候群を発症、入退院をくり返した。息切れがして、歩くこともままならなかった。3年前移植を受けた。骨髄液輸注の時「身体が温かくなって、希望にあふれてきた」と同時に「自分のためにだけ生きちゃいけない」と思った。移植後37日で退院。担当医をも驚かす回復力とはいえ、わずかその半年後には、デパートの事務をしながら医療事務の学校に通い、深夜まで勉強して資格を取得、今の仕事についた。

毎年「患者の会」の集いには必ず出席。移植を控えた患者さんの話相手になることもある。励まし、励まされることがどれほど支えになるか身に染みている。だから将来は福祉や、患者サポートのためのカウンセラーを目指したい。「頂いた命お返ししなければ」。視線はもう次に向いている。

東京都在住

### 移植後の死因(症例毎に最大4項目)

複数の原因がある場合は、それぞれに計上			
GVHD 98	出血 60	再発 70	肝不全 48
間質性肺炎 73	肝中心静脈栓塞症 27	敗血症 66	
生着不全/拒絶 28	腎不全 62	その他 121	

### 移植成績向上のために

- 1) HLA型(DNAレベル)の適合が重要であり、より適合するドナーを選択するためにドナープールを早急に20万人規模に拡大する必要がある。
- 2) 患者さんの病態が悪化する前に移植ができるよう、迅速なコーディネイトを行うための骨髄バンクのシステム化、ネットワーク化を早急に構築する必要がある。
- 3) 非血縁者間骨髄移植治療では、急性GVHDの発症率が高く(60~80%)、そのうち1/4が重症化しているため、治療法の改良が急務であり、また、感染症等の合併症対策が大切である。

# INFORMATION

ドナー登録者で51歳になられたり、何らかの理由でドナー登録を取り消される方で「骨髄バンクニュース」の送付を引き続き希望される方は、財団事務局までご連絡下さい。

## 必ずお読みください

### HLA 1座不一致移植の実施について

日本骨髄バンクは、発足時よりドナーの方々の負担と善意に報いるため、患者さんがある程度良好な移植成績を期待できる疾患、状態であり、かつ、ドナーの適合検査については、HLA型のA座・B座・DR座が血清学的検査レベルで、各座につき2個・合計6座が一致した場合のみ適合ドナー候補者とするとし、厳格に適合検査を行ってきました。

一方、医療の進歩とともに、国内における血縁者間での1座不一致移植の成績や欧米での非血縁者間での1座不一致移植の成績が向上してきており、現在、生存予測が30〜40%程度となつてきています。また、各国の骨髄バンクではHLA適合率が低いことや移植成績の向上等を考慮して、1座不一致移植は患者・家族の希望と移植病院の判断に任せる方向になってきています。

そこで、日本骨髄バンクとしても、こうした医療の進歩と世界的な趨勢日本においてHLA6座一致するドナー候補者を見つからない患者さんがいらっしゃることに、患者・家族への成績やリスクを含めた十分な説明と同意、病気の状態等についての慎重な審査、移植病院の限定を前提条件として、HLA1座不一致移植の実施に向けて検討を行っています。

今後、適合基準としてはHLA6座一致を原則としますが、一致したドナー候補者を見出すことができない患者さんの希望によっては、1座不一致移植を行うことがあることについて、皆様のご理解をいただきますようお願いいたします。なお、関係機関との調整や具体的な準備ができた次第実施する予定です。



この機会に  
あなたの地域で  
ぜひご参加ください

ドナー登録者10万人  
骨髄移植1500例達成

さらに30万人に向けて  
全国キャンペーン開催予定

10月初旬を予定  
しています。詳  
しくはあなたの  
地域の関係団体  
にお問合せくだ  
さい



### これからの行事予定

北海道・東北地区骨髄バンク推進連絡会議・7月3日(金)/札幌  
九州・沖縄地区骨髄バンク推進連絡会議・9月4日(金)/大分  
'98全国大会開催地、名古屋に決定・12月19日(土)



### サポーター募集

骨髄バンクの機能を本格的に発揮させるには、多くの資金が必要です。骨髄バンクのサポーターや賛助会員として、善意のドナーと骨髄バンクを支えてくださるよう呼びかけをしています。個人、企業、グループで骨髄バンクを応援してください。お振込み先は下記の通りです。

サポーター1口 1,000円(何口でも)  
賛助会員 年 100,000円(法人団体)  
10,000円(個人)  
郵便振替口座番号 00130-2-609313

本紙は、日本赤十字社のご協力により、すべてのドナー登録者の方に送付しております。送付を希望されない方や、住所、氏名の変更のあった方は、登録先の骨髄データセンターへお知らせ下さい。

日本小型自動車振興会から補助  
今年度も、普及啓発ポスター、パンフレット、リーフレットは「オートレース公益資金」の補助により発行しています。

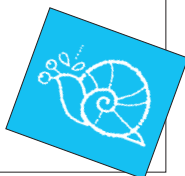
### ドナーの方にC型肝炎が 発症した事例の中間報告

3月下旬報道された「骨髄ドナーにC型肝炎が発症」のニュースが流れ、心配された皆様が多かったと思われます。これまでの事実経過、原因調査状況等についてお知らせします。

**事実経過** 本年2月に骨髄提供されたドナーの方20歳代・女性が採取の2週間後に、急性肝炎を発症しましたが再入院・治療により順調に回復しました。肝炎はC型肝炎ウイルスによるものとの診断です。骨髄バンクドナーの方にC型肝炎が発症した経験はなく、極めて重大な事例のため、感染症の予防対策とドナー安全対策の徹底について、4月24日各骨髄採取病院へ緊急要請を行い事実を公表しました。

**原因調査** 肝炎発症の直後より、財団と当該採取病院は緊密な連携により肝炎ウイルスが感染した経過は何か、何時感染したか等をあらゆる可能性から慎重に調査しております。原因がわかり次第、報告します。

### 編集後記



12号編集に協力くださった皆様ありがとうございました。益々の活躍をお祈りいたします。A・C・M出演のもえちゃん、お母さん、そして、吉永小百合さん本当にありがとうございました。ドナー登録10万人達成を目前に、骨髄バンクの来し方と思うと感慨無量です。支障くださった多くの皆様に深く感謝いたします。皆様の熱い思いをしっかりと受けとめ、次のステップを踏みださなければなりません。すでに、新たな取り組みが開始されています。目覚ましい医学の進歩、研究の成果により明らかになった新たな目標・ドナー登録30万人をめざして一層の努力をしまいたい。編集最終段階で、骨髄バンクに多大な協力をいただいたhideさん(元X Japan)の訃報心から哀悼を祈ります。

お問合せ・資料請求は

フリーダイヤル

0120-377-465

日本骨髄バンク(JMDP)